



武 一 中

令和 8 年 9 月 28 日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R8-10 号

[URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/](https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/)

第 1 回「失敗の日」

校 長 中嶋 建一郎

今年の年間行事予定の 10 月 13 日には「失敗の日」と書かれています。3 年生には 2 年前に話をしたので、覚えている人もいるかもしれません。1・2 年生には初めてなので一緒にもう一度、「失敗の日」の話を聞いてください。

この「失敗の日」を知るきっかけは 2 年前の読売新聞でした。10 月 13 日を「失敗の日」としている高校が紹介されていたのです。「生徒が失敗を披露し、あすへの糧にして前に進もうという催しを行っている」と書かれていました。10 月 13 日を「失敗の日」と定めるフィンランドになったそうです。

調べてみると、フィンランドでは 2010 年に起業家グループの呼びかけで「失敗の日」が始まり、ヨーロッパを中心として広がり、国際記念日となったようです。「失敗を恐れずに挑戦する」「失敗を肯定的に捉えて学ぶ」「失敗を周りも受け入れる」などのメッセージが込められ、「寛容な社会」を創ろうと提言されてきました。

「寛容な社会」、少し難しい言葉ですね。「いろいろな価値観や生き方を認め、他の人を尊重しつつ共に生きていくことができる社会」のことです。この「寛容な社会」になっていくと、例えば学校では「心理的安全性」が高まります。この言葉も難しいですね。「心理的安全性」とは「この場で自分の意見や気持ちを素直に表現しても、非難

や仲間外れにされないと思える状態」を意味します。教室だと「質問をしやすい」「間違いを認めやすい」「異なる意見を言いやすい」「助けを求めやすい」などの状態です。

「心理的安全性」が高いところには、新しい提案や反対意見を言っても否定されず、安心して発言できる雰囲気があります。こういう状態になると、問題を早く共有し理解したり、創造的な考えが活発に行き交ったりして、そこにいるメンバー皆の能力や成果の向上につながります。「心理的安全性」は単なる「居心地の良さ」ではなく、皆さんが共に学んでいくときの学びやすさや理解を深めることに直接影響を与える重要なものです。

今年の第一中学校の第 1 回「失敗の日」には、2 つの計画があります。1 つは生徒会の計画で、この後に説明があります。もう 1 つは、13 日に先生方に失敗談を話してもらうことです。合唱コンクール直前の忙しい時期ですが、学活の時間や給食の時間などを活用して先生方に失敗談を話してもらうようお願いしています。一部進度の早い授業なら授業中に話してもらえられるかもしれません。失敗の日に授業の無い先生は、前後の日に話があるかもしれません。

今回の第 1 回「失敗の日」の感想を 10 月 13 日にクラスルームで募ります。先生方の驚きの失敗談など教えてください。自分の失敗談を書いてくれてもかまいません。

★一中生部活動大活躍★

◇◇吹奏楽部◇◇

東京都中学校吹奏楽コンクール 都大会 金賞



◇◇有志◇◇

武蔵野市中学校陸上競技大会

総合男子 4位

総合女子 準優勝